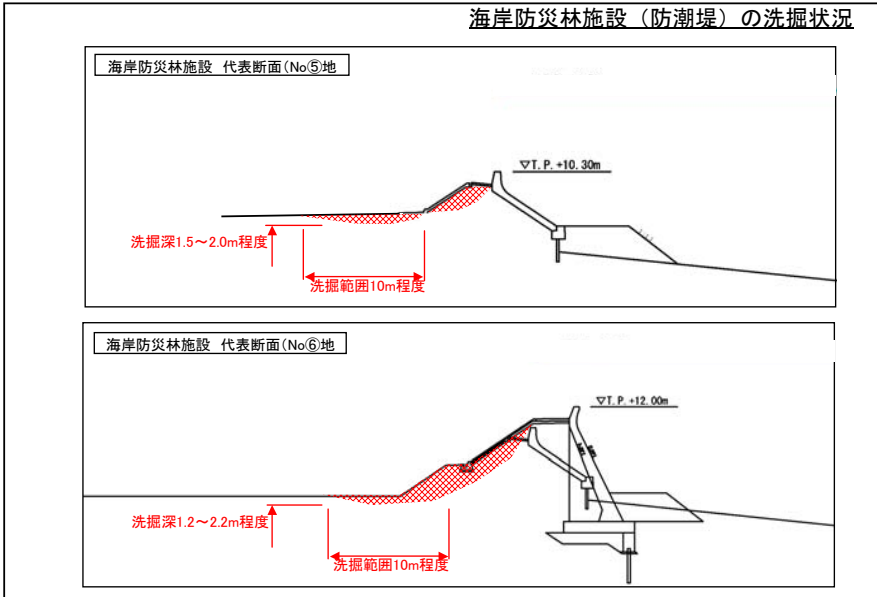
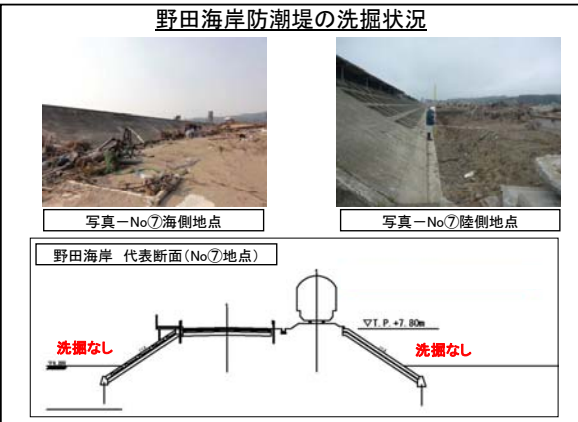
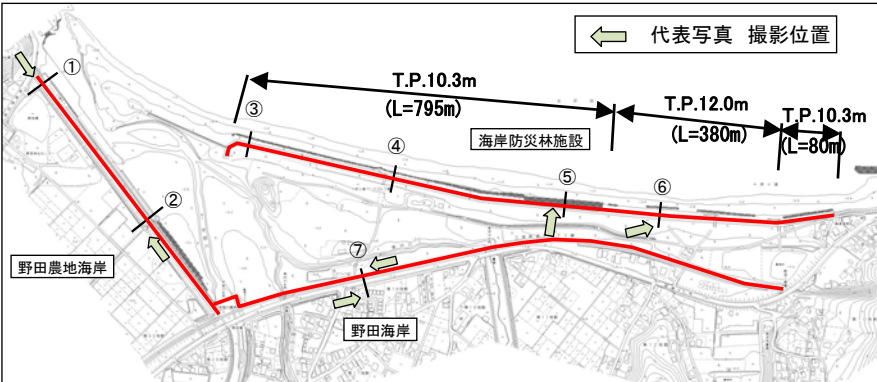
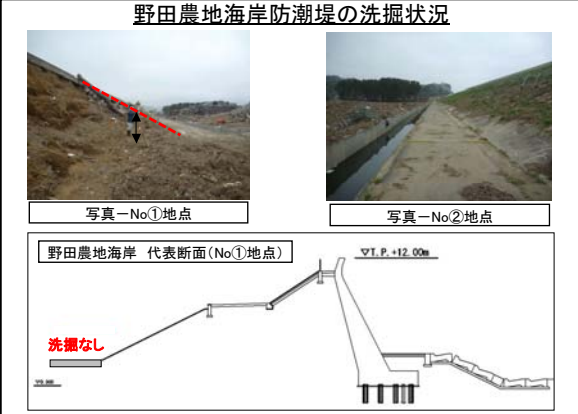


現地調査結果	堤防等洗掘状況	市町村名	野田村	海岸名	野田海岸
--------	---------	------	-----	-----	------



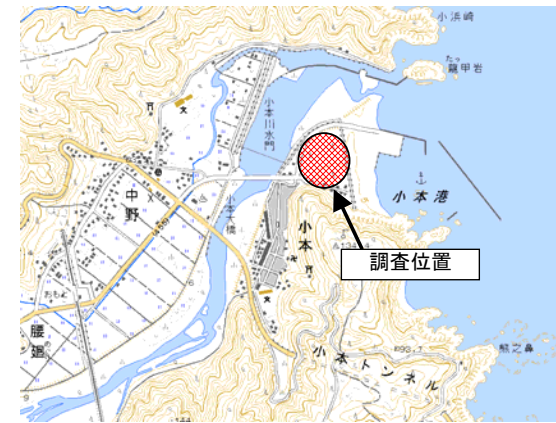
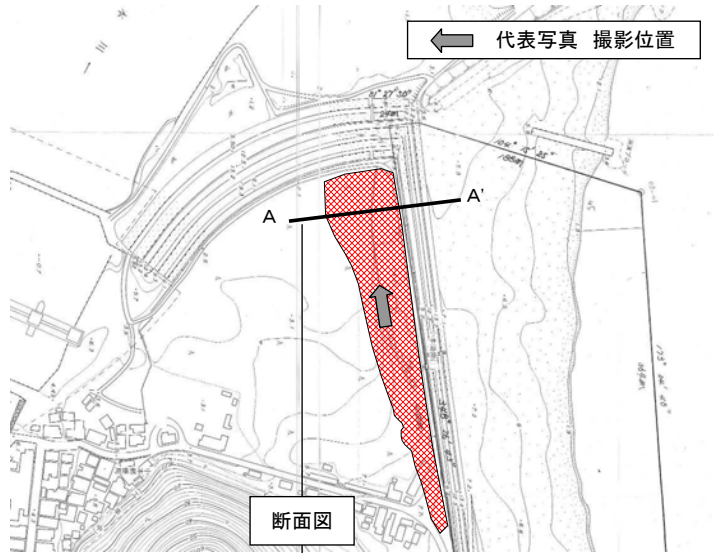
海岸名	①現況堤防高 (TPm)	②津波水位 (TPm)	③現況天端高-津波水位 (m)	洗掘範囲			備考	
				地点	延長 (m)	奥行き (m)		法尻洗掘深 (m)
海岸防災林施設	10.3	16.5	6.2	③地点	200.0	5	1.0~1.5	裏のり一部損傷、法尻洗掘、堤防全壊
	12.0	16.5	4.5	④地点	330.0	5~10	0.3~0.5	クラック箇所からの損傷、裏のり留工残置
	12.0	16.5	4.5	⑤地点	265.0	10~15	2.0~1.5	堤防全壊、天端、裏のりのみ損傷
	10.3	16.5	6.2	⑥地点	380.0	10	1.2~2.2	裏のり、留工が損傷
				-	80.0	-	-	背後地と天端標高が同じ

現地調査結果

堤防等洗掘状況

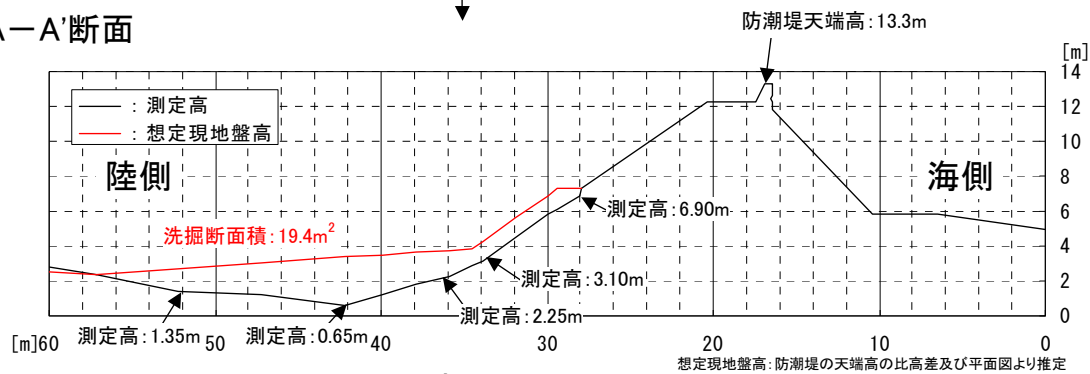
市町村名 岩泉町

海岸名 小本海岸



調査位置案内図

A-A'断面



代表断面図 A-A'断面



洗掘状況 代表写真

海岸名	①現況天端高 [T.P.m]	②津波水位 [T.P.m]	現況天端高 - 津波水位 [m]	洗掘範囲			備考	
				範囲名称	延長 [m]	奥行き [m]		深さ [m]
小本海岸	13.3	20.2	-6.9	海側	-	-	-	・防潮堤前面の洗掘はほぼ無かった。 ・防潮堤背面は2.0~29m程度の奥行きで洗掘が見られ、深さも最大で2.7m程度と非常に大きい。
				陸側	300	2.0~29.2	1.0~2.7	

現地調査結果

堤防等洗掘状況

市町村名 宮古市

海岸名 金浜海岸



調査位置案内図

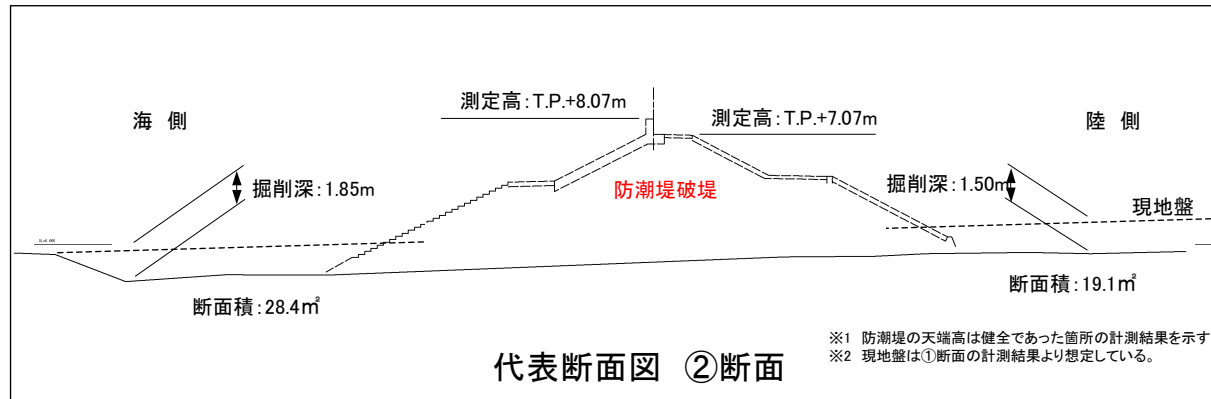
撮影位置:1



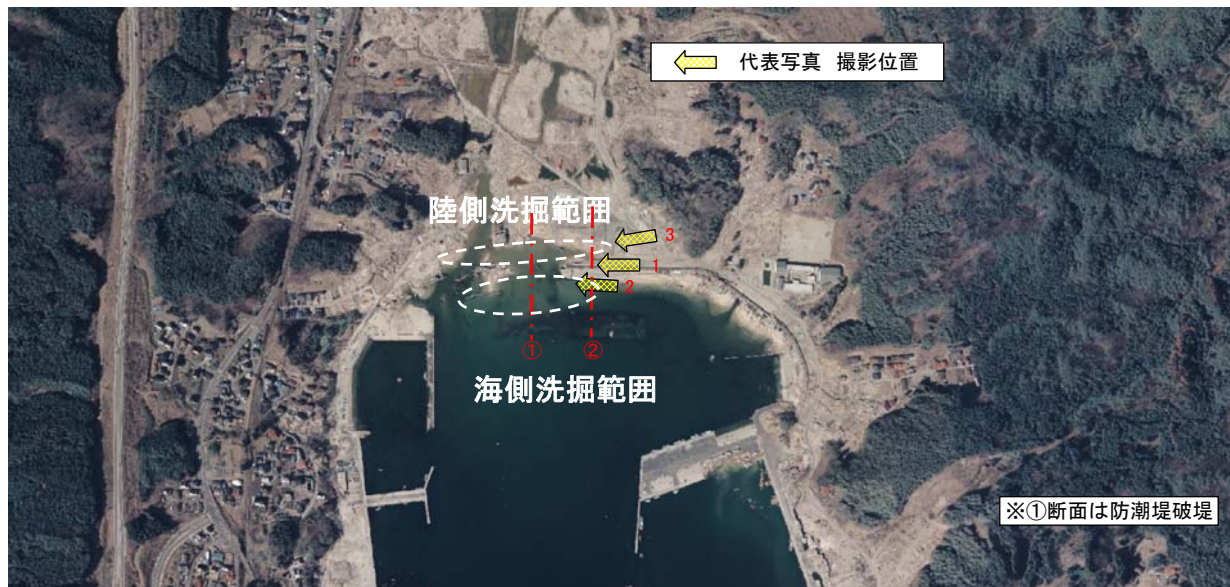
撮影位置:2



洗掘状況 代表写真



海岸名	①現況天端高 T.P. (m)	②津波推移 T.P. (m)	現況天端高 - 津波水位 (m)	洗掘範囲			備考	
				範囲名称	延長 (m)	奥行き (m)		洗掘深さ (m)
宮古市 金浜海岸	8.07	12.2	-4.13	海側	50	0~20	0~1.85	・ 防潮堤中央付近は倒壊、南側は表・裏法面とも被災、北側は裏法面が被災している。 ・ 防潮堤前面、背面とも洗掘されている。
				陸側	230	5~30	0~1.50	



調査位置案内図

撮影位置: 1

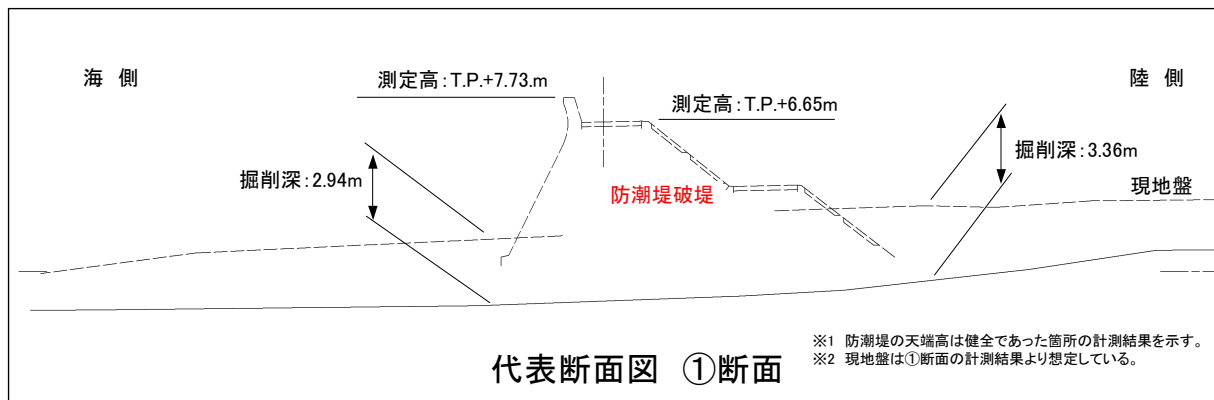


撮影位置: 2

撮影位置: 3



洗掘状況 代表写真



海岸名	①現況天端高 T.P. (m)	②津波推移 T.P. (m)	現況天端高 - 津波水位 (m)	洗掘範囲			備 考	
				範囲名称	延長(m)	奥行き(m)		洗掘深さ(m)
山田町 船越南海岸	7.73	10.2	-2.47	海側	130	10~70	0~2.94	・防潮堤西側は倒壊し、前面、背面とも洗掘されている。 ・津波に対し、漁港施設の影となる東側防潮堤前面は健全であるが、前面、背面に多少の洗掘が見られる。
				陸側	260	5~50	0~3.36	

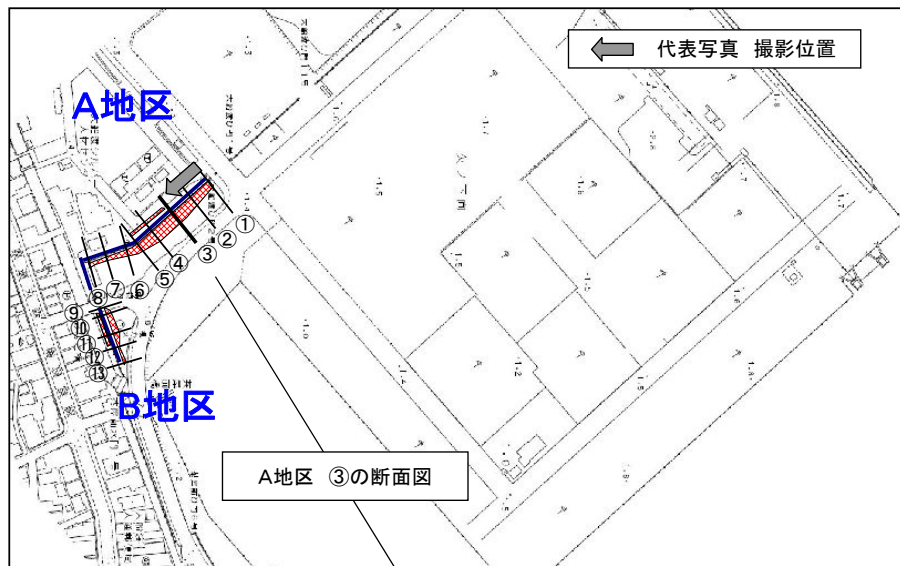
現地調査結果

堤防等洗掘状況

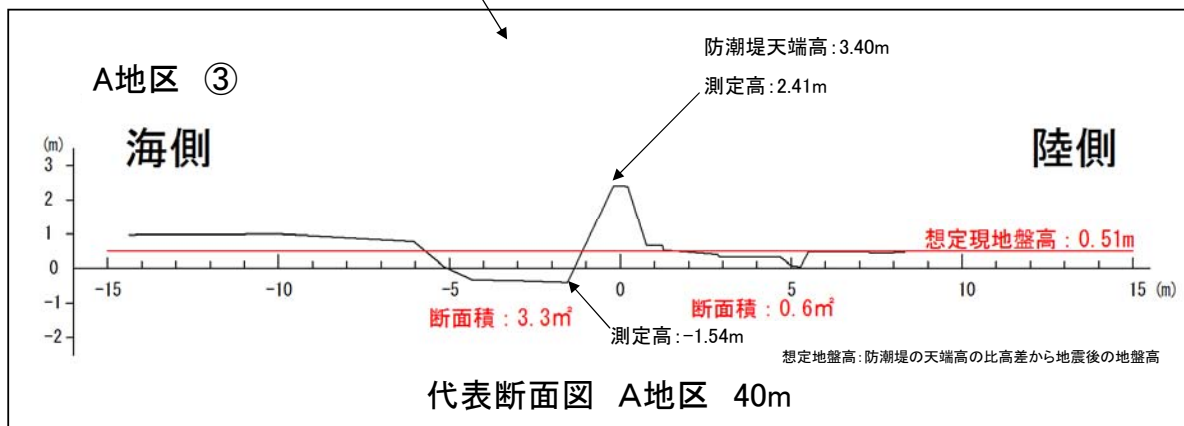
市町村名 大船渡市

海岸名

大船渡港海岸 茶屋前地区海岸

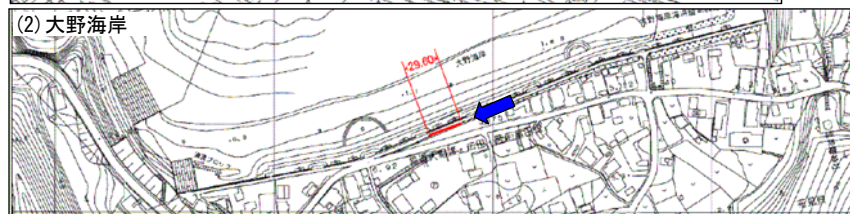
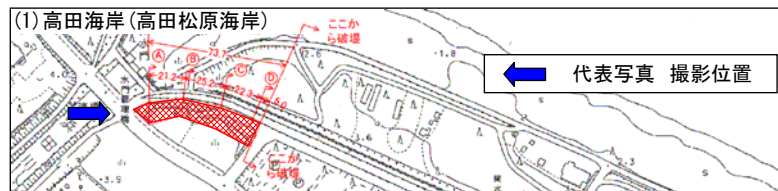


調査位置案内図



洗掘状況 代表写真

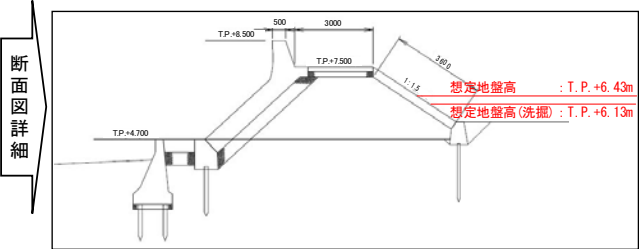
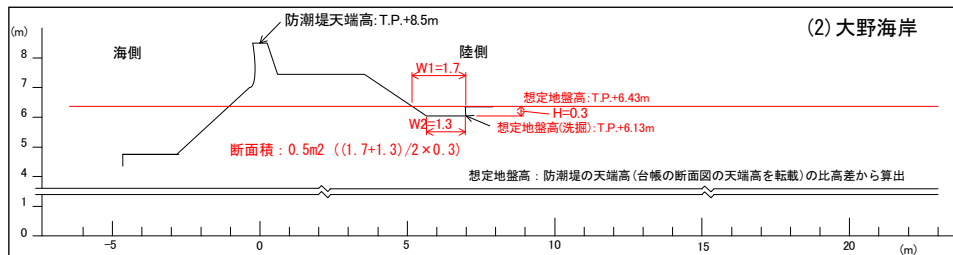
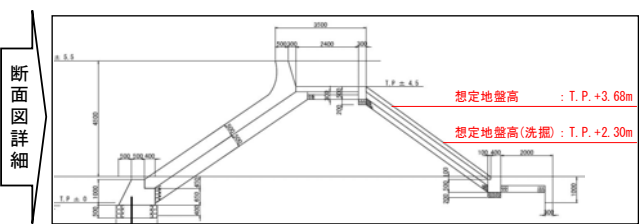
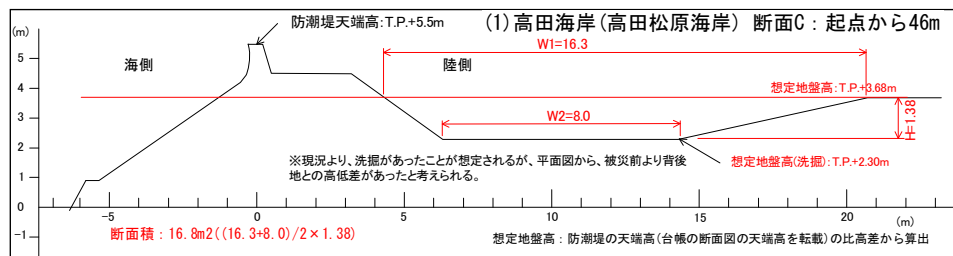
海岸名	①現況天端高	②津波水位	現況天端高 -津波水位	洗掘範囲				備考
	T.P.(m)	T.P.(m)		T.P.(m)	範囲名称	延長(m)	奥行き(m)	
大船渡港海岸 茶屋前地区	3.4	7.3	-3.9	A地区海側	116.5	2~8	1~1.8	・防潮堤は破壊していないが、陸側は門柱損傷や扉体流失している。 ・防潮堤前面は、全体的に洗掘されている。 ・防潮堤背後より前面の方が洗掘深さは大きい。
				A地区陸側	33.0	1~2	0.5	
				B地区海側	30.5	0.5~3	0.5~1.0	
				B地区陸側	20.0	2	0.5	



代表写真撮影位置図



調査位置案内図



代表断面図

洗掘状況 代表写真

調査結果総括表

海岸名	①現況天端高	②津波水位	現況天端高-津波水位	構造	洗掘範囲			備考	
	T.P.(m)	T.P.(m)			T.P.(m)	範囲名称	延長(m)		奥行き(m)
(1) 高田海岸(高田松原海岸)	5.5	13.6	-8.1	傾斜	起点側(浜田川側)	73.7	9.7~16.3	1.1~1.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>大部分が全損しており、調査は、起点側で一部残った範囲(第二線堤: 約74m区間)で行っている。</li> <li>被災前地盤は、台帳上の断面図よりかさ上げされており、地盤下にコンクリート構造物が存在する。(断面図詳細を参照)</li> <li>現況より、洗掘があったことが想定されるが、平面図から、被災前より背後地との高低差があったと考えられる。(洗掘深さは、背後地の被災後地盤からの深さを記入)</li> </ul>
(2) 大野海岸	8.5	14.6	-6.1	傾斜	-	29.6	1.7	0.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災前地盤は、台帳上の断面図よりかさ上げされており、地盤下にコンクリート構造物が存在する。(断面図詳細を参照)</li> <li>洗掘深さは、背後地の被災後地盤からの深さを記入。</li> </ul>

※現況天端高は、被災前の設計天端高(海岸保全区域台帳の標準断面図の数値)であり、被災後は沈下しているものと想定される。